



JR東労組 八王子地本

**FAX HACHIOJI**



ホームページ

発行責任者

本部派遣代表 佐藤英樹

2020/10/18No.61

八地申  
第19号

## 「設備関係総務業務の体制見直し」に関する申し入れを提出！！

八王子地本は、8月28日に「設備関係総務業務の体制見直し」の提案を受け、職場からこれからの設備職場の業務改革を担うべく、議論を積み重ねてきました。

設備関係技術センターの総務業務は、JINJRE や NASBI 等の各種システムの導入を通じて効率的な業務運営が可能になってきているものの、各職場での総務業務は技術系業務及び現場の各種業務とも密接な関係性があることから、今施策は設備関係職場における大きな変化点であると認識しています。総務業務の執行体制を見直し、業務改革及び生産性の高い総務業務の構築を図ることを目的とする今施策により設備関係全体の業務遂行がよりレベルの高いものにならなくてはなりません。また次世代を担う総務業務を熟知した社員の育成に寄与する施策としていかななくてはならないと考えています。安全・健康・ゆとり・働きがいの持てる職場を構築していくために、下記の通り10月15日に申し入れました。

1. 今施策の導入に至った根拠と、これからの設備関係総務業務の将来展望について具体的に明らかにすること。
2. 設備関係技術センターが行う、これまで総務関係社員が行ってきた業務について明らかにすること。
3. 設備サポートセンターの業務執行体制について明らかにすること。
4. 施策実施にあたっては、これまで以上に業務運営がスムーズに行える体制を確保すること。現場において現金が必要な際には、社員による立て替えが発生しないようにすること。やむを得ず立て替えが発生した場合には管理者により取り扱うよう徹底すること。
5. 今施策によって、技術業務と総務業務の連携等に変更点が多く発生することから、全社員へ十分な教育及び周知を行うとともに、明確な業務フローを作成し徹底を図ること。また、金銭出納に関するガイドラインを整備すること。
6. 今後の設備関係総務業務を担う人材を育成していくため、必要な教育を計画的に実施していくこと。また、今施策において設備関係技術センターが現場で実施しなくてはいけない総務業務が増加することから、各現場の企画科へ総務業務を担当する社員の配置を行うこと。
7. 設備サポートセンター社員の職場巡回等で使用できるデスクを各現場に配備すること。
8. 今施策においても、本人が描くキャリアプランを十分に尊重し、将来展望を持てるものとする。

安全で安心して働きがいの持てる職場をめざし  
現場の声からは団体交渉を行います！！

